

ピアレビュー評価の高い科学研究、引用及び特許取得との間に強い相関関係 (4月23日)

ハーバード大学 (Harvard University、マサチューセッツ州) 経営学助教のダニエル・リ氏 (Danielle Li) とボストン大学 (Boston University) 市場・公共政策・法学助教のレイラ・アガー氏 (Leila Agha) が執筆した、科学研究プロジェクトに対するピアレビュー委員の評価と、当該研究プロジェクトのその後の成功を検証した研究論文「著名人か優れたアイデアか ～ピアレビュー委員は最良の科学提案書を選択しているか?～ (Big names or big ideas: Do peer-review panels select the best science proposals?)」が、4月23日付の「サイエンス (Science)」誌に掲載された。両氏は、1980年～2008年に国立衛生研究所 (National Institutes of Health : NIH) から助成を受給した研究プロジェクト約13万件に関し、NIHによるピアレビュー審査における点数と、他の研究者の論文における当該研究の引用及び、特許取得との関係を検証した。その結果、ピアレビューの点数が1ポイント下がると、他者による引用が15%、学術誌掲載が7%、影響力の強い学術誌掲載が19%、関連特許の取得が14%、それぞれ減少という、強い相関関係があることが明らかになった。NIHの助成審査を監督するNIH委託研究副ディレクターのサリー・ロッキー氏 (Sally J. Rockey) は、同研究結果を歓迎するとコメントしている。

なお、本論文の要旨は、<<http://www.sciencemag.org/content/348/6233/434.abstract>>から閲覧可能。

The Chronicle of Higher Education, Peer Review Works, Says New Research on Citations and Patents

<http://chronicle.com/article/article-content/229607/>